

新型コロナウイルス感染症関連の情報

調査情報部

調査情報部では世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、各国政府の対応など需給に影響を与えるタイムリーな情報を、海外情報としてホームページの以下のURLに随時掲載しております。

(掲載URL : https://www.alic.go.jp/topics/index_abr_2021.html)

ここでは、11月11日までに掲載したものをまとめて紹介いたします。

【英国】

(令和3年11月11日付)

需給が引き締まるEUのでん粉製品 (EU)

フランスの大手でん粉製造企業であるロケット (Roquette) 社は9月30日、でん粉由来甘味料、非食用でん粉、加工でん粉それぞれの需要者に対し、EU域内のでん粉需給は引き締まって推移しているとのプレスリリースを発表した。同プレスリリースでは、2021年の需給に関し、需要、供給両面の要因として以下を掲げている。

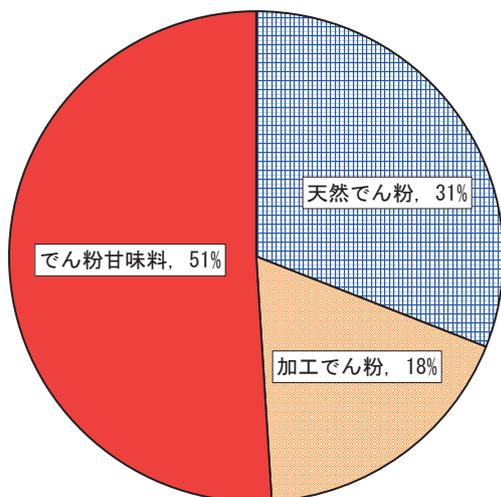
需要側の要因

・異性化糖に代表されるでん粉由来甘味料の需要は年々増加傾向にあり、2020年においてはEUのでん粉需要の51%を占めている。2021年のでん粉由来甘味料の需要は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) パンデミックに関連したロックダウンの影響を受けたものの、飲食店の営業再開により回復していることに加え、異性化糖需要が近年のEU域内砂糖価格の上昇を受け、増加傾向で推移している (図1、図3)。

・工業用でん粉の大口利用者である段ボール業界の消費量^(注)は、過去5年間、年率3%で増加していたが、20年の同消費量は、COVID-19に関連した電子商取引の活発化により、商品の配送に利用する段ボール需要が増加したことで、前年比6%増とかなりの程度増加した (図2)。

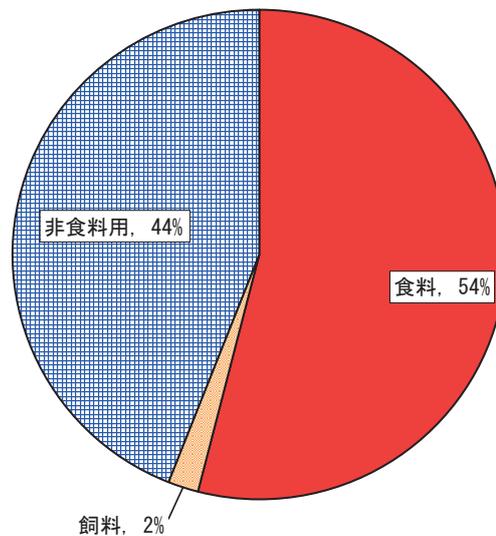
(注) EUのでん粉需要の44%が非食用途であり、その主要用途が製紙用途となる。

図1 EUのでん粉仕向別割合



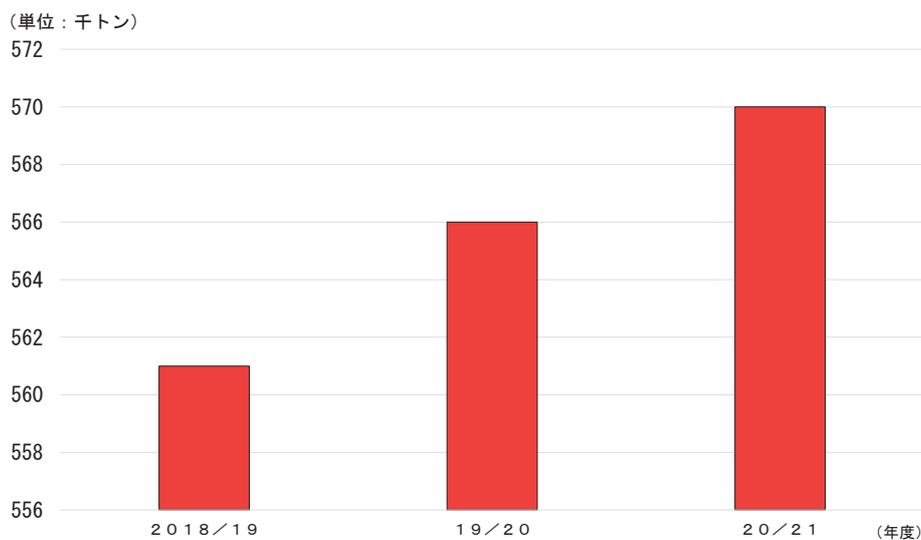
資料：StarchEurope
注：2020年の数字。合計910万トン（EU27カ国）。

図2 EUのでん粉形態別割合



資料：StarchEurope
注：2020年の数字。合計910万トン（EU27カ国）。

図3 EU域内の異性化糖の生産量



資料：欧州委員会「EU Sugar Balance」
注：年度は10月～翌9月。

供給側の要因

- ・ 欧州で主要なでん粉原料であるトウモロコシや小麦の価格が上昇していること（図4）
- ・ ガスなどのエネルギー価格や、運賃が高騰していること（図5）
- ・ これらのコスト上昇により、でん粉から製造される製品は、収益性の高い製品の供給を優先する傾向があること
- ・ コスト上昇により一部の工場が操業を停止していること

EUの大手でん粉・砂糖製造企業であるオーストリアのアグラナ（Agrana）社は10月14日に発表した2021年上半期の中間報告の中で、小麦やトウモロコシの原料コストや、燃料コストが大きく上昇したことから同社のでん粉部門の経常利益が前年同期比16.4%減と大幅に減少したことを発表し、コスト上昇による影響を明らかにしている。

図4 EUの小麦およびトウモロコシ価格の推移

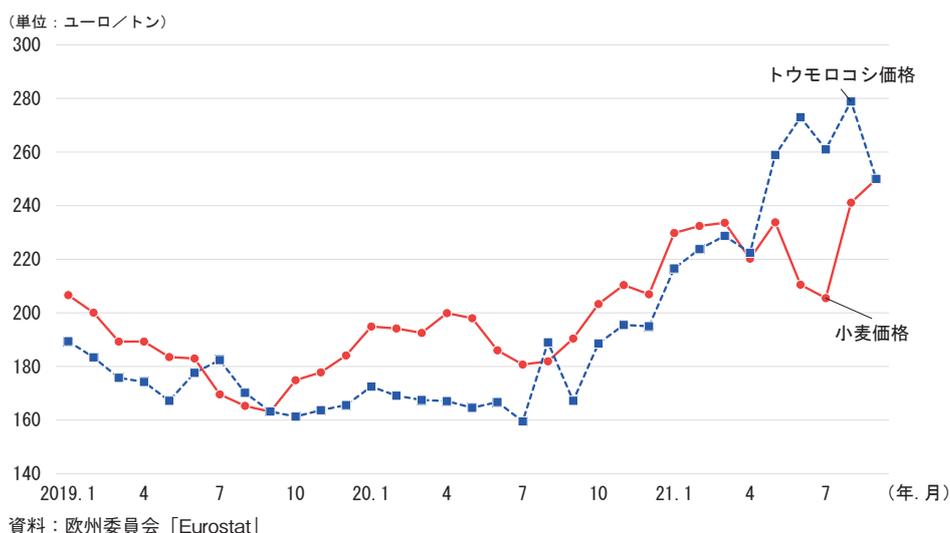
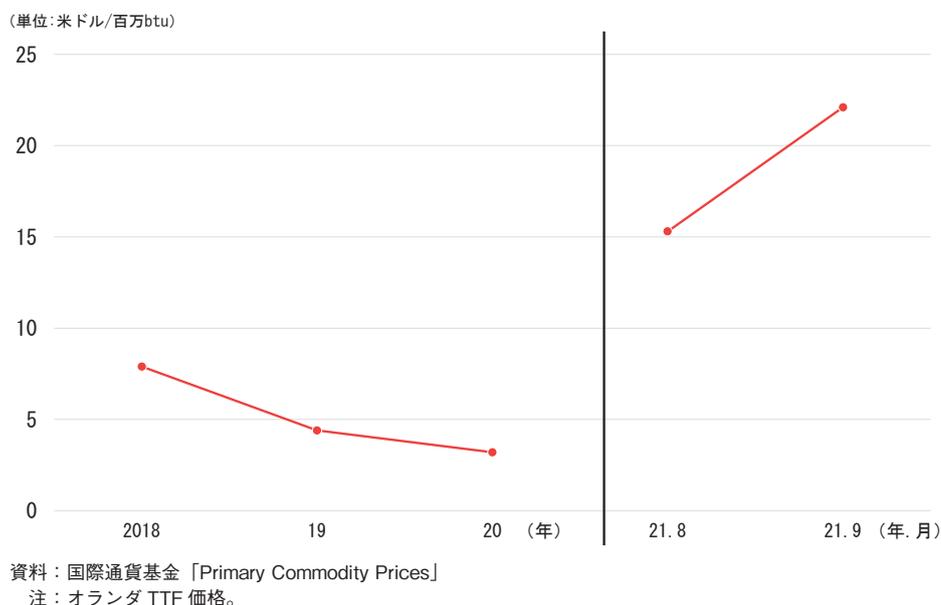


図5 EUの天然ガス価格の推移



(国際情報グループ)